

地域資源を活用して新しいビジネスをつくりませんか？

食に関する

「パネルディスカッション&異業種マッチング交流会」

参加者募集

こんなお困りごとありませんか？

- ・自社商品の販路開拓や商品開発などを考えたいが、アイデアが不足している
- ・業種の垣根を越えて、商品開発したいが人脈がない
- ・自社商品を活用して社会的課題解決ができればと思うが、どうしたらいいかわからない など

### 静岡ローカルフードプロジェクト（LFP）とは？

地域の農林水産物を活用した、社会的課題解決と経済的利益の両立を目指した持続可能な新たなビジネスモデルを創出するプロジェクトです。

地域の食品産業を中心とした多様な事業者が、社会的課題の解決という共有価値によって協働し、イノベーションを創発した新たな商品やサービスを生み出し、消費者に商品等の価値に加えて、社会的価値を提供することで顧客ニーズの創出や新たな価値を生み出すことを目指しています。



### 開催概要

1. 開催日時 2022年11月28日（月）
2. 開催時間 13時30分～16時00分  
（受付開始：13時00分～）
3. 実施場所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 501会議室  
〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
4. 実施内容（一部変更となる可能性がございます）
  - ①静岡ローカルフードプロジェクト（LFP）について
  - ②静岡県の食の課題をテーマにトークセッション、事例紹介（他県事例、本県事例）
  - ③異業種マッチング交流会（参加者同士の名刺交換・情報交換）
5. その他
  - ・駐車場はご用意ございませんので、近隣の駐車場をご利用下さい。
  - ※最寄り駐車場：アイベック静岡西門町第1駐車場 電話0120-608-555
  - ・新型コロナウイルス感染防止対策といたしましてマスクの着用をお願いします。また、研修参加前に検温をいたします。37.0℃以上の方のご参加はご遠慮いただきますので予めご了承ください。
  - ・当日の緊急連絡先 LFP事務局（ボックスグループ）担当 前田 080-6899-0859

### お申込み方法

下記Googleフォーム、または右記QRコードよりお申込みください。

<https://forms.gle/osgeptUgwaR6sZW59>

申込期限：11月21日（月）まで

※お申込みいただいた方には、事前にプロフィールシートをお送りいたしますのでご記入の上、当日ご参加をお願いいたします。



## テーマ：静岡の食の未来を語る 静岡ローカルフードプロジェクトの実績紹介、本県の取組事例紹介

[下記のような方々におすすめです。]

地域製品の生産者、加工業者、物流事業者、各種媒体など、食を切り口に新たな価値を生み出す取組に興味のある事業者様やこのような事業者様の支援を行う方々。

### [ファシリテーター/講師]



中央LFPコーディネーター  
松田 竜太郎

FoodniaJapan株式会社 代表取締役  
慶應義塾大学環境情報学部卒。卒業後、日本放送協会に入局し、報道カメラマンとして全国各地の事件事故、災害など日々のニュースの現場をはじめ、紀行番組の撮影に邁進。その後、企画・プロデュース業に転職、2010年より起業し「人と食の接点を、より良くする」をコンセプトに、食にまつわる事業開発・店舗開発、PRコンテンツ制作を担う。地域活性化に紐付き、JETRO地域団体商標海外展開支援事業ブランドプロデューサーにて、地域食材を海外に展開する事業のサポートや、2021年農水省LFPにおけるコーディネーターを歴任。

### [登壇者]



R3年度 静岡県LFPパートナー  
株式会社FIEJA  
代表取締役 永松 典子



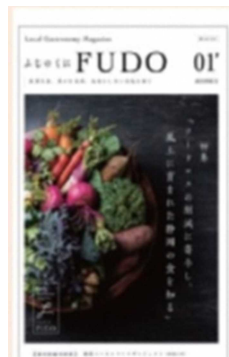
R4年度 静岡県LFPパートナー  
株式会社KAWANE SENSE  
代表取締役 浜谷 友子

※その他、県内各農林事務所から地域の取組事例をご紹介します。

## R3年度ローカルフードプロジェクト実績

**フードロス削減をメッセージとしたミルクキットづくり**  
未利用食材を活用し、地域のピストロシェフ監修のレシピ、生産者のストーリーを伝える雑誌付きサブスクリプション型商品「静岡を旅するミルクキット（ミネストローネ）」を開発。

▶コロナ禍で未活用の県産農産物が急増しフードロスが発生していることを社会課題とし、ふじのくにブランドの生産者と加工業者、ふじのくに食の都づくり仕事人のシェフを中心に、地域情報を発信するメディアが連携し、見た目や形に左右されず、素材の価値を生活者に届ける商品づくりを行った。



## R4年度ローカルフードプロジェクト取組内容

**農山村の活性化を目指したゆずビールの開発**  
農村地域が抱える人口減少、少子高齢化、後継者不足等の問題を解決するため、県内ブルワリーと連携し「ゆず」クラフトビールを開発する。

▶販売先は開発に携わったブルワリーのタブルーム、飲食店、宿泊施設などに展開し、料理と組み合わせ提供することにより、観光客の増加も目指す。



### 【お問合せ先】

静岡LFP運営事務局（株式会社ボックスグループ）

電話：054-653-5515 月～金 10:00～18:00 担当：前田 ([lfp22\\_hakuhodo@hakuhodo.co.jp](mailto:lfp22_hakuhodo@hakuhodo.co.jp))